

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-297817

(43)Date of publication of application : 25.10.1994

(51)Int.Cl. B41J 29/38
B41J 5/44

(21)Application number : 05-090352

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 19.04.1993

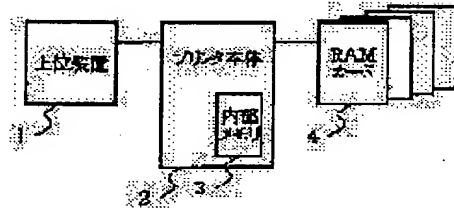
(72)Inventor : TAKAHASHI YOSHITSURU

(54) PRINTER

(57)Abstract:

PURPOSE: To eliminate a troublesome operation for setting a memory switch in a printer.

CONSTITUTION: For setting a memory switch, a printer 2 is provided with a nonvolatile memory 3 incorporated therein for storing the content of the memory switch and a RAM card 4 that can be externally attached. When the RAM card 4 is inserted, the printer refers to the content of the memory switch stored in the RAM card 4. When the memory switch is set, the content of the memory switch is stored in the RAM card 4.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 23.01.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 21.07.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

This Page Blank (uspto)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-297817

(43)公開日 平成 6 年(1994)10月25日

(51)Int.Cl.⁵

B 4 1 J 29/38
5/44

識別記号

Z

庁内整理番号

9113-2C
8703-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21)出願番号

特願平5-90352

(22)出願日

平成 5 年(1993) 4 月19日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

(72)発明者 高橋 美鶴

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号日本電気株式
会社内

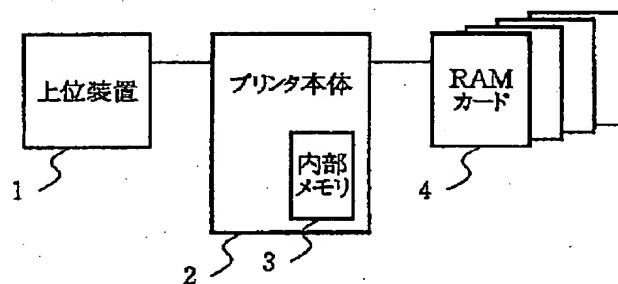
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外 2 名)

(54)【発明の名称】 プリンタ

(57)【要約】

【目的】プリンタにおいてメモリスイッチ設定の面倒な操作を除去する。

【構成】メモリスイッチ設定において、プリンタ 2 は内部にメモリスイッチの内容を記憶する不揮発性メモリ 3 と、外付けが可能な RAM カード 4 を持つ。RAM カード 4 が挿入されているときプリンタは、RAM カード 4 に記憶されているメモリスイッチの内容を参照する。メモリスイッチの設定を行う際も、その内容を RAM カード 4 に記憶する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 プリンタ本体に外付けが可能なRAMカードにメモリスイッチの内容を記憶させたことを特徴とするプリンタ。

【請求項2】 プリンタ本体にRAMカードが外付けされている時は前記RAMカードに格納されたメモリスイッチの内容を参照し、操作盤から入力されたメモリスイッチの内容を前記RAMカードに格納し、前記プリンタ本体にRAMカードが外付けされていない時は前記プリンタ本体に設けられた不揮発性の内部メモリに格納されたメモリスイッチの内容を参照し、操作盤から入力されたメモリスイッチの内容を前記内部メモリに格納することを特徴とするプリンタ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はプリンタに関し、特に設定条件をメモリにソフト的に記憶させるメモリスイッチの機能を備えたプリンタに関する。

【0002】

【従来の技術】 図2は従来のプリンタのブロック図である。プリンタ本体6は上位装置5に接続され、不揮発性の内部メモリ7を有する。メモリスイッチの内容は内部メモリ7に記憶される。プリンタで印字を行う際、基本的な条件はメモリスイッチにより設定することができる。メモリスイッチの内容を変更するときは操作盤を使って行い、その内容は不揮発性の内部メモリ7に直接書き込まれ、電源を切っても変更された内容は消去されない。従って、新たに変更されない限りメモリスイッチの内容は保存される。しかし、あるユーザがメモリスイッチを変更したプリンタで他のユーザが変更前のメモリスイッチ内容による印字を行いたい場合、再度設定変更を行わなければならない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 この従来のプリンタでは、1台のプリンタを複数のユーザが共有して使いたいとき、メモリスイッチの内容はプリンタを新たに使用するユーザの設定により前のユーザが設定した内容は消去されてしまうので、それぞれのユーザはメモリスイッチを各自の業務に合った内容に設定するために前のユーザから代ってプリンタを使用する都度、面倒なスイッチ操作を行わなければならないという問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明のプリンタはプリンタ本体に外付けが可能なRAMカードにメモリスイッチの内容を記憶させたことを特徴とする。

【0005】 本発明のプリンタは、プリンタ本体にRAMカードが外付けされている時は前記RAMカードに格納されたメモリスイッチの内容を参照し、操作盤から入力されたメモリスイッチの内容を前記RAMカードに格納し、前記プリンタ本体にRAMカードが外付けされて

いない時は前記プリンタ本体に設けられた不揮発性の内部メモリに格納されたメモリスイッチの内容を参照し、操作盤から入力されたメモリスイッチの内容を前記内部メモリに格納することを特徴とする。

【0006】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0007】 図1は本発明の一実施例のブロック図である。

【0008】 プリンタ本体2は上位装置1に接続され、不揮発性の内部メモリ3を有する。プリンタ本体2のスロットにRAMカード4を接続可能である。メモリスイッチの内容は内部メモリ3及びRAMカード4に記憶させることができる。

【0009】 プリンタ本体2に電源を投入すると、RAMカード4がプリンタ本体2のカードスロットに挿入されているか否かを判断する。RAMカード4が挿入されていれば、プリンタは内部メモリ3に格納されている内容を参照しないでRAMカード4の内容を参照してメモリスイッチの設定を行う。RAMカード4が挿入されていなければ、プリンタは内部メモリ3の内容を参照してメモリスイッチの設定を行う。この場合内部メモリ3に格納されているメモリスイッチの内容は、従来のプリンタと同様に前回、設定されたものが消去されずに残っており、変更しなければメモリスイッチは前回と同じ設定になる。

【0010】 以下、RAMカード4がプリンタ本体2のカードスロットに挿入されていることを前提として説明する。RAMカード4が挿入されていることにより、プリンタ本体2で印字を行う場合、メモリスイッチについては、内部の不揮発性メモリ3の内容を参照しないでRAMカード4の内容を参照する。例えば複数のユーザでプリンタを共有して使用する場合、RAMカード4をユーザそれぞれが持ち、RAMカード4を差し替えることにより、各々のメモリスイッチによる機能の印字が可能になり、それぞれのユーザが使用する前にプリンタのメモリスイッチを変更する必要がなくなる。

【0011】 RAMカード4に記憶されたメモリスイッチの内容を現在の設定から変更するときも設定変更は操作盤からの入力で行う。すなわち、RAMカード4が、プリンタ本体2のカードスロットに挿入されている場合に操作盤から入力されたメモリスイッチの内容は、プリンタ内部の不揮発性メモリ3に格納されずにRAMカード4に記憶される。これによりユーザ独自のメモリスイッチの内容を記憶したRAMカード4が作成される。

【0012】 このように、RAMカード4を使用することにより、LANなどでプリンタを共有して使用する場合や、ユーザによって独自のメモリスイッチの設定で印字したい場合、ユーザごとのメモリスイッチ変更のための面倒なスイッチ操作を避けることができる。

【0013】

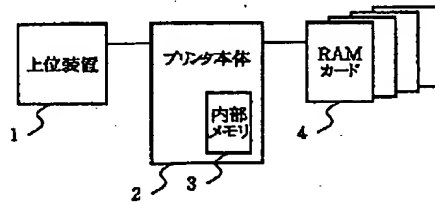
【発明の効果】以上説明したように、本発明はメモリスイッチの内容の設定において、RAMカードにその内容を記憶できるようにしたのでユーザが交替した場合等におけるメモリスイッチ設定の面倒な操作を避けられるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

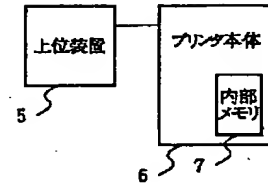
【図1】本発明の一実施例のブロック図である。

【図2】従来のプリンタのブロック図である。

【図1】



【図2】



【符号の説明】

- 1 上位装置
- 2 プリンタ本体
- 3 内部メモリ
- 4 RAMカード
- 5 上位装置
- 6 プリンタ本体
- 7 内部メモリ

This Page Blank (uspto)